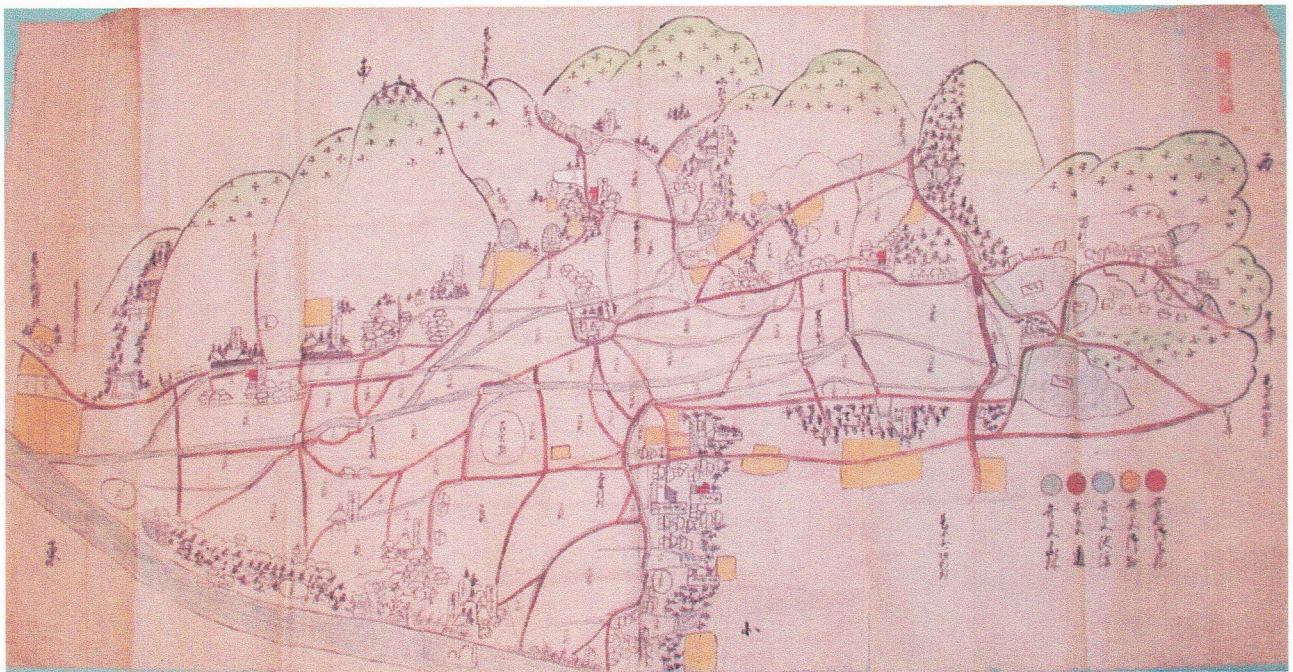


小野市絵図集

7月6日より販売開始！

市内に残された江戸・明治の絵図・地図を解説
先人から書き残された村の歴史を語り継ぐ...



来住郷絵図

小野市絵図集の購入方法

- 本の体裁 A4判 本編約300ページ 絵図編約70ページ
 - 価格 7,000円 (送料は別途申し受けます)
 - 購入方法
 - ・直接好古館でご購入下さい。
 - ・郵送希望の場合は、好古館へ連絡してください。納付書をお送りします。
 - 販売場所 小野市立好古館
 - 問合せ先 小野市立好古館
- 675-1375 兵庫県小野市西本町477 電話 0794-63-3390

小野市絵図集の執筆者

- 大山喬平 京都大学名誉教授、小野市史編纂専門委員長
今井修平 神戸女子大学教授（副学長）、小野市史編纂専門副委員長
田中眞吾 神戸大学名誉教授、小野市史編纂専門委員
野田泰三 京都光華女子大学准教授、小野市史編纂専門委員
奥村 弘 神戸大学大学院人文学研究科教授、小野市史編纂専門委員
石野茂三 小野市立旭丘中学校長、元小野市史編纂室長
藤田裕嗣 神戸大学大学院人文学研究科教授

掲載絵図

小野地区

一柳土佐守知行所絵図、小野町絵図、黒川村絵図、奥村絵図、長尾村絵図、後谷村絵図、浄土寺絵図

河合地区

河合北部・滝野南部絵図、河合中村絵図、西村絵図、粟生村絵図、大河筋河合川原争論裁許絵図

来住地区

来住郷絵図、黍田村絵図、阿形村西脇村両村絵図、福甸村絵図

市場地区

太郎太夫村絵図、櫻村室山村絵図、池尻村絵図、大島村絵図、山田村絵図

大部地区

鹿野原扱絵図、高田村・北村絵図、高田村用水溝絵図、敷地新村絵図、中嶋村絵図、土橋村絵図

下東条地区

買野村絵図、万勝寺村絵図、池田村絵図、小田村絵図、曾根村絵図、船木村絵図、菅田村絵図、下番村絵図、久保木村絵図など

15 来住郷絵図（来住町・下来住町・福甸町）

年不詳

縦七二・〇cm 横一四二・〇cm

山本家文書

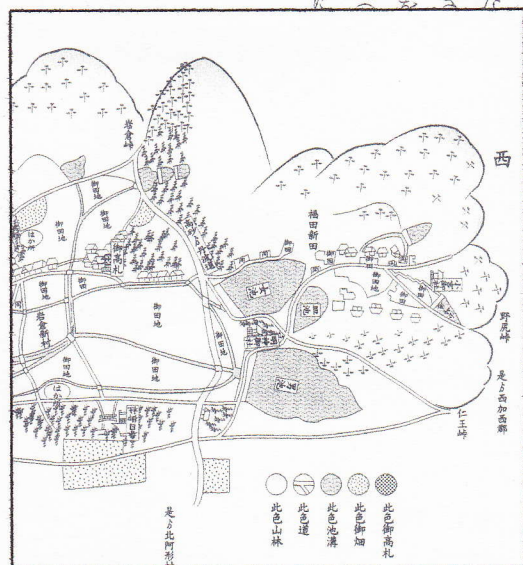
本文見本

自然地形 地域は絵図西端の野尻峠より東西よりやや東南方向に開いた三角形の流域に拡がっている。地域の南側には、野尻峠より高度一六四・一メートルを最高峰とする同じく流紋岩山地が加古川河畔まで続く。地域北側は、前述の野尻峠より北東方向に流紋岩山地が続く、山麓の丘陵地以下が村域となっている。絵図中、上流部の男池・女池以西は、絵図20、福甸村絵図で扱う。

南側の山地には、岩倉峠および、くこ峠谷の二本の顕著な谷筋が発達している。岩倉峠沿いおよびその周辺の山麓沿いには県下の流紋岩山地山麓に特徴的にみられる岩屑で構成された斜面、麓層面が形成されている。男池・女池からは、くこ谷川および前谷川がながれ、谷沿いには、低所段丘面群並びに谷底平野が形成されている。

地形別の土地利用状況を見ると、畑地は中高度の段丘面上に、一部は麓層面・扇状地上に、集落はほとんど中高度の段丘面上に、水田は低所の段丘面上および谷底平地に立地している。

来住郷の地形は細かな多様な土地利用がなされた。概要 南を天、北をん（新田、岩倉新村、助）で、来住郷全域を詳細には、大変珍しい。



解説図（部分）